



中井やまゆり園取り組み 全体像

社会福祉法人 同愛会 てらん広場
大川 貴志

はじめに

- 津久井やまゆり園事件後に発足された津久井やまゆり園利用者支援検証会で様々な虐待の疑いが指摘され、他の県立施設も調査した結果、それぞれの施設で不適切な行為が報告された。
- 神奈川県は自ら運営する中井やまゆり園を調査した結果、不適切な行為が疑われ令和3年に外部調査委員会を発足させた結果虐待と疑われる25件を市町村に通報した。
- 外部調査委員会のメンバーとして、中井やまゆり園の過去、現在を話します。

中井やまゆり園 概要①

- 開所日 昭和47年
- 定員 現在90名（最大140名 個室対応で90名）
- 障害区分 5.9
- 平均年齢 46歳
- 平均在籍 18年7か月

中井やまゆり園 概要②

中井やまゆり園



神奈川県直営の障害者支援施設

神奈川県足柄上郡中井町境 2 1 8

箱根に近い県西部

萬緑



海の風

グリーン
テク西広場

境グリーンテク
パーク公園

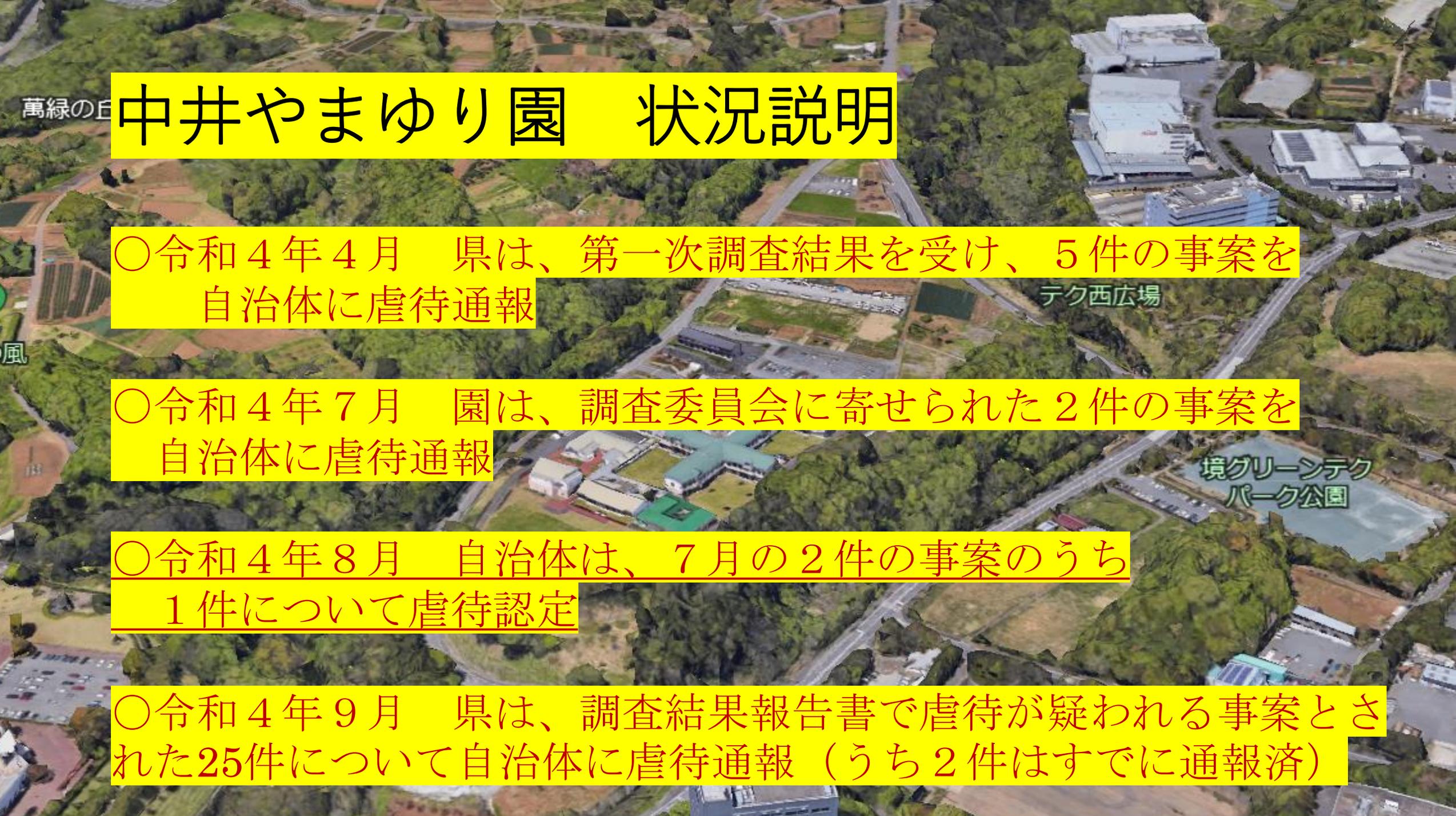
中井やまゆり園 状況説明

○令和元年11月 利用者へ水をかけた事案発生
(令和2年2月虐待認定)

○令和2年5月 利用者を叩いた事案発生
(令和2年6月虐待認定)

○令和3年3月 県は、園で実施している8時間以上の
身体拘束(居室施設 22件)の状況を支給決定自治体に情報提供

○令和3年5月 令和3年3月に支給決定自治体に情報提供した
22件のうち、1自治体が2件(利用者2名)について身体的虐待と認定



中井やまゆり園 状況説明

○令和4年4月 県は、第一次調査結果を受け、5件の事案を自治体に虐待通報

○令和4年7月 園は、調査委員会に寄せられた2件の事案を自治体に虐待通報

○令和4年8月 自治体は、7月の2件の事案のうち1件について虐待認定

○令和4年9月 県は、調査結果報告書で虐待が疑われる事案とされた25件について自治体に虐待通報（うち2件はすでに通報済）

中井やまゆり園とは何だったのか？





失われた「暮らし」

- ・破壊を防ぐため固定された家具



- ・便座やドアのないトイレ

- ・封鎖された洗面台



「刺激」を
排除した空間



- ・廊下や園庭にも人けがなく、利用者の姿が見えない
- ・モニターで居室を監視している寮も
- ・見学時、刺激にならないようにパーテーションが用意されていた



孤立する 利用者

- 真っ暗な部屋
- 便が天井にこびりついた部屋
- 何も物がない部屋...

で長時間居室施設

- 日中活動（やること）がない



中井やまゆり園とは何だったのか

- ・ 4年前後の人事異動で「誰でも働ける場所」
職員が関わらなくても利用者が一人で過ごせることが重視

→ 人との関わりが失われた

人との距離が出来て社会からも分離され孤立

→ (地域から) 分離させてしまった。

(施設内でも) 分離させてしまった。

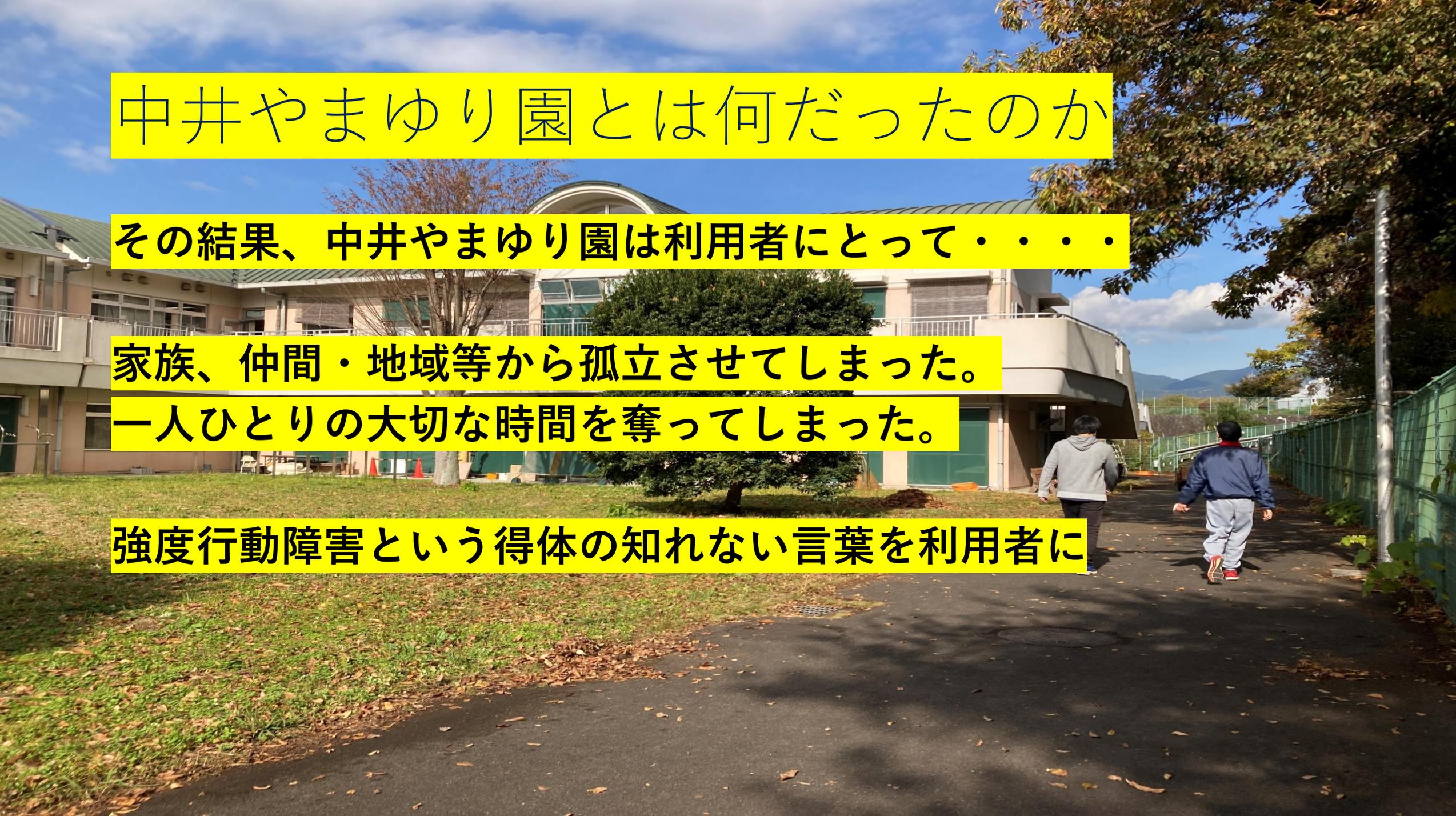
中井やまゆり園は何だったのか

・施設（行動障害の人を）へ集めて障害特性のみに対して振り返りなく集中療育を実施して問題行動が起きなければ良しとした。

そして、“行き場”のない人たちを受け入れる事で役割を全うしている

何よりも強度行動障害の点数が下がることのみを正義とした

→暮らしを奪い生難さを強めて、何も出来ない人達のように感じさせてしまった。



中井やまゆり園とは何だったのか

その結果、中井やまゆり園は利用者にとって・・・

家族、仲間・地域等から孤立させてしまった。

一人ひとりの大切な時間を奪ってしまった。

強度行動障害という得体の知れない言葉を利用者に

中井やまゆり園 状況説明②

写真をご覧ください



中井やまゆり園が変えたこと

園として

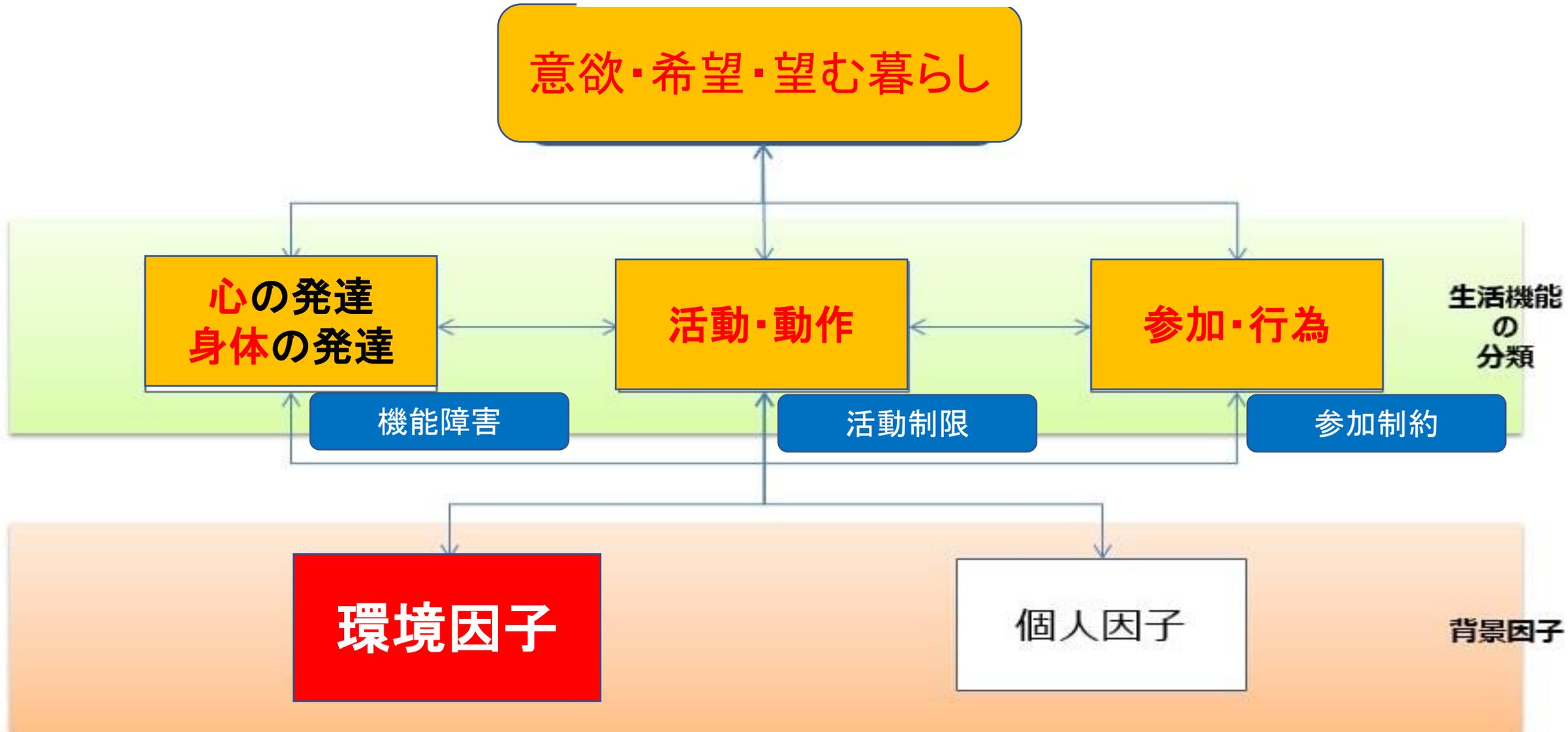
支援方法の改善方法ではなく

利用者の暮らしを豊かにする（暮らしの改善）

具体的には・・・

居室施錠を解き、一緒に活動を行った・・・

アセスメント



ICFとは「医療モデル」「社会モデル」の統合、生きる事の全体像、各種サービス間の「共通言語」を強度行動障害と呼ばれる方に当てはめた

日中活動をやってみて

・居室施設されている利用者とは違った姿との出会いと発見、そして
迷い

・利用者へ心からの謝罪したい気持ち

* この仕事は新たな出会い・発見をなくすと不適切な支援へ傾倒する

誰でも出来る場所 = 考えない・~~判断しない~~ 迷わないではない。

誰でも自由な発想を持ち・決断できる・迷い・悩める場所が誰でも働ける場所

なぜ 変わりつつあるのか

障害の特性・問題行動を見るのではなく

人とひとなりを知る

「自閉症児を特別なものとして見ることをやめたとき、
彼らが良く見えてくる」

十亀史郎氏（三重県立総合療育施設「あすなる学園」）の言葉

なぜ、変わりつつあるのか

利用者と職員が同じ方向を見る

(何故・入所して何処へ向かうのか)

利用者も職員も当事者へ

方法論を統一するのではなく・・・当事者として同じ方向を見る

更に目指すこと . . .

利用者（幸せそうに）が変わるということ → **自分が変わること**

→ **支援する・されるでなく双方向**

利用者も職員も温もり、幸福感を得ていく → **生き甲斐・やりがい**

→ **影響しあう**

利用者・職員の幸福感が

膨らみ関わる人たち（地域）へ広がっていく → **自分**

